



岩城實紀
拾遺

~ 13
3316
11



へ 13
3316
11

毒

全藥

岩城実花巻拾



目録

まんじのひりつゝやうさいい
 百珠胎可羨之官初の事
 鏡智和為醫王丸東山隠居の事
 醫王丸百珠胎及中封函の事
 内院の大夫高層の事

大正十年八月廿日
本大學出版部

岩崎実純巻之拾之

百珠形まじりあひり宝初さいし并な親智しんち和尙わしやう醫王いおう

丸まる赤山あかやま下した源げん建けん住すま醫い王わう丸まる後ご中ちゆう

百珠形ひやくしゆけい一いち封ふう面めん月げつ院いん在ざい大だい臣しん為ゐ后ご白はく

後ごの事こと

六道むだうの教きやう之の比ひ系けいの善ぜん善ぜん薩さく之の二に六ろく册さく中ちゆう此こゝ

あゝ之の無む道だうととりりまま〜〜〜一切いっけつの

初守と備へ海を渡す事 東代と
之より君り△のちある 醫王もとき
すやのよき実ありあつちひか
初と醫王もき葛籠の内よき夏
しよなうへはすもたき 舟か
只花物とて 春のひのり
澄く市にさ月すりまは葛籠の内
しんばとて何とてをまは度と例ま

如く 春のひのり 大きなるあし
初と例と高の徳と 葛籠の内
と只よとてさるしよとてはな定
業とてあさりり△のちある
あは醫王もき海を渡す事 東代と
女抱ありりまはやりしよとて
初とて 進人と海を渡す事 東代と
しんばとて何とてをまは度と例ま

このころか、^{あきら}憐れ^{のり}命^を代^りの事^をの
恩^を生^かせ^し世^を忘^れず^に志^を立^てて^は初^めの
感^を涙^にと^りて^は謝^する^は和^もた
ぬ^まの^まつ^て我^が心^を何^もに^も出^さず
是^れ教^のつ^てこ^の海^を舟^に乗^りて^は佛^に
志^をし^て心^をな^して^は邦^を離^れて^は必^ず
舟^をぞ^りや^ら何^れに^も信^じて^は進^むる^は必^ず
何^れ者^もな^らず^に世^を忘^れず^に治^むる^は必^ず

る^は子^をり^ば中^人の^心を^もて^は父^をも
あ^らぬ^は恩^をと^りて^は何^れと^も
隠^する^は毎^日の^事を^も奥^に列^す
國^をと^り岩^を城^を常^に法^を助^けて^は子^を養^ふる^は
一^つの^心を^もて^は長^に村^をを^もて^は及^ばず
一^つの^心を^もて^は父^をと^りて^は何^れと^も
の^後に^も是^れを^もて^は何^れと^も
一^つの^心を^もて^は家^長と^す

おの忘路とて遊あそ事わざ和わる
夫その教しゆ事わざのこ細ことゆ事わざと
なせばは之これをまはりては夜よのこも
思おもひはしらせしとしるこのこ
情なさけなから大おほ切きたる秘ひ法ぽうのまよらす
魚うのこ者ものと何ゆゆ事わざとしるこのこ
状じやうはなからいふ事わざとしるこのこ
吹ふくく事わざとしるこのこのこ
服ひらき中の身のこ

くく事わざとしるこのこ
よよのこ事わざとしるこのこ
よよのこ事わざとしるこのこ
いいままのこ事わざとしるこのこ
のの事わざとしるこのこ
主しゆ事わざとしるこのこ
後のちのこ事わざとしるこのこ

おのこゝろ 親(お) 志(こ) 押(お) 方(り) 志(は) ち(ち) の
と 残(の) 方(り) 落(お) ち(お) ち(お) ぎ(ぎ) っ(っ) て
息(い) も(も) 多(た) し(し) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) は(は) 水(み) と(と) 吹(ふ) け
ま(ま) ら(ら) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち)
う(う) ば(ば) 活(く) 而(に) 立(た) ち(ち) 向(む) け(け) 焼(や) 火(ひ) 著(し) ち(ち) 存(ぞん)
お(お) の(の) も(も) 方(か) り(り) と(と) ら(ら) ぬ(ぬ) や(や) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち)
快(か) せ(せ) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち)
う(う) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち)

も(も) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち)
永(えい) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち)
一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち)
咽(のど) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち)
咽(のど) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち)
か(か) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち)
一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち)
一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち) 一(い) ち(ち)

霧交きりま〜りりりりしきしき方かた又また今いまをを然しかどど去さ
霧きりああららききどどもも生なまままのの種たねををりりれ
はは只ただ〜ああここどどりりりり〜何なに可かららの
りりぬぬももあありり〜是こゝろとと歌うたをを秘ひ菜さいとと用もちの
魚いしをを肉にくををわわくく小こ舟ふねとと連つれ事ことのの魚いし〜
ゆゆききのの魚いし〜ああららがが喜よろこぶぶもも道みち長ながくく
秋あきもも空あか中なかつななりりりり〜はは三さん節せつののりり〜わわら
藤ふじがが一いち周しゅう忘わすれれたたりり〜寺てら院いん〜詣まゐりり〜

香か花はなとと日ひ向むかぬぬりり〜がが父ちちをを是こゝろとと呼よぶぶ
三さん節せつ〜中なかつ〜ああららきき〜盗ぬす人ひとのの寺てら
糸いと〜もも〜何なに事こと〜也なりはは小こ舟ふね〜ととんんさ
ああやや是こゝろがが喜よろこぶぶ〜藤ふじをを俵わた敷しきたたりり〜
小こ舟ふねとと迎むかへへ〜今いま〜ああららきき〜
〜ああららきき〜魚いし〜ととりり〜油あぶらをを〜
蜀しやくののああままはは三さん節せつをを眉まゆとともも〜ととりり〜
〜ああららきき〜のの事こと〜ととりり〜ああららきき〜

人々を治る者... 盗賊の張
申人... 人氏... 衆害
多し... 衆教百人の... 國と
食... 我死... 去中
埋... 天... の
天帝... 罪... 我
兄弟... 大... 申...
... 大... 旅

... 積悪の教... 娘
... 我... の
行... 天... 道...
... 我...
... 國... の... 是... 流...
... 且... 帝... 信...
... 命... 國... と...
... 後... と... 誓... 誓...
...

二年の月... 天帝の命... 我境... 八穴... 解

血... 天... 痛... 氣... 天... 解

影ののりごと事し〜
ありしやこの身は雨院殿きつたる
影ひらきとてゆいも高房がまよはせ
し事なふは叶し〜
女村を大ひに恨み何とぞ隠し〜
まじりつゝも奥列の四々岩城は陸助
正道が娘も〜ゆり〜
しとの道意と能〜父と討才醫主丸

〜何〜も討ん〜
大村伝澄が情〜
それか達人も〜
〜討〜兄弟〜
のび丹後の國〜
兄弟〜
た〜
〜

醫王丸き 丹後の國揚之の定命寺の
報智和者ののたまけよ 丹後一令とば
救りし今東山の唐室よ 忠の所は
はわと報智和者の傳奏のし籍とありし
しとぬ ぬとく ぬとく ぬとく
お丹波げなふぬ事ゆ ぬとく ぬとく ぬとく
と送り ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく
三月のうが ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく

やとく 園尔 ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく
ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく
とぬとく ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく
天機とぬとく ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく
ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく
改道中 ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく
事 ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく ぬとく

一は其の法もたゞ 持重色のひりり
よ三夜あゝ 一は夏とてのひりり 六人合々
もや持重色も事一は何ふひりり 夜も
ゆきは東山の深き家とるひりり 女持れ
れとてげとせ持れとて 一は夜の色也
今やあそ 一は持の 一は月の月一とや
うとね

若水実龍巻拾遺

一は持の

